



令和6年度 学校便り

与論中だより

令和6年4月23日 与論町立与論中学校

校訓
誠

体協創自
力気方調造主

自覚をもって校門に入り，自信をもって校門を出る。

校長 吉松 浩志

令和6年度は55人が本校に入学し、第2学年54人、第3学年53人、合計162人でスタートしました。

入学式では、新1年生の緊張した様子の中にも堂々と入場する姿を見て、大変頼もしく喜ばしい気持ちになりました。これからの中学校生活に向け、



大きな期待と不安を抱きながらも頑張っていこうという気持ちが態度に出ていると思います。

さて、私は、入学式の中で2つのことをお願いしました。一つ目は、本校の目指す学校像の一つである「自覚をもって校門に入り，自信をもって校門を出る」という言葉の実践です。「今日もがんばるぞ」という自覚をもって、校門に入り、一日が終わったときには、「こんなことが分かった。こんなことができるようになった。」と振り返り、そのことに自信をもって校門を出るということです。そして、高校等に進学し、島を離れる時には、さらに大きく育てた自信をもって巣立って行ってほしいと思っています。

二つ目は、前に述べたことを達成するためにも、夢や目標をもって努力すること。この夢や目標が「やる気」や「諦めない気持ち」の原動力となります。これから始まる中学校の全てが、その夢の実現に向けた一步一步の積み重ねであり、しっかりと踏みしめて自分自身を磨いてほしいと思っています。

新学期は、今までの自分を変えるチャンスです。全生徒が、将来の夢に向かって、夢実現のために何をしなければならないか、よく考えて今日からやれることをしっかり取り組んでほしいと思います。もちろん、将来の夢がまだはっきり決まっていない生徒もいます。今、自分ができることを毎日一生懸命に取り組むことで自分の可能性が広がり、夢や目標が定まってくるものだと思います。それには、当たり前のことですが、毎日の学習や部活動等に一生懸命取り組むことが大切だと思います。

何事にも一生懸命に取り組み、自分自身を成長させる中で、自分の興味や関心が広がっていき、自分のやりたいことを発見できたりして、将来の自分の夢につながってくるものだと思います。

生徒一人一人が与論中学校の一員として自覚をもち、夢実現に一步でも近づけるように、与論中学校の全職員で生徒の夢の実現に向けて応援・サポートしていきます。

与論中学校の学校教育目標は、

未来の創り手となる生徒の夢実現に向けて，確かな学力と豊かな心を育てる

〔夢を実現する力，未来を切り拓く力，自ら学ぶ力，「島だち」できる力〕です。

保護者，地域の皆様，本年度もどうぞよろしくお願ひいたします。